



フラグシッププロジェクト(事業者分科会)

脱炭素経営の学びの場の構築の実証プロジェクト

企業の脱炭素経営を促す国内外の仕組み(TCFD、SBT等)やESG投融資の進展により、サプライチェーン全体で脱炭素を図る機運が急速に高まっています。

富士見町の経済を支える中小企業の経営者向けの学習会を行い、各事業所の脱炭素化を推進することで、各企業の経費削減を図り、競争力を高めるとともに地域外へのエネルギー代金流出抑制、温室効果ガス排出抑制を図ります。

進め方

- Step.1 商工会と連携して経営者向けの学習会を実施し、生産性の向上にも資する取組手法を紹介し、脱炭素経営の省エネに投資する メリットを提示します。
- Step.2 賛同をいただいた事業者へ、費用を掛けずにまたは安価で行える省エネ診断の実施及び診断を踏まえた具体的な対策につながる後押しをします。
- Step.3 その結果を受けて、各事業所に省エネ設備等 が導入されます。
- Step.4 削減された電気使用量や化石燃料使用量から温室効果ガス削減量や投資回収年数等のコストメリットを算出して実績を把握します。
- Step.5 学習会を継続するとともに先行事業者の実績を公表することで、脱炭素化の推進に賛同をいただける事業者を増やしていきます。

次回（広報2月号）は、「フラグシッププロジェクト（バイオマス分科会）」について紹介します。